

◆『家庭・学校・地域が連携した子どもの生活習慣づくりの取組』

PTA ドリームプラン

～子ども達の生きる力の向上を目指して！～

熊本県荒尾市立荒尾第一小学校 P T A

1 学校およびPTA概要について

荒尾第一小学校は、熊本県北部の福岡県との県境に位置した荒尾市にあり、創立が1885年の歴史のある小学校である。学校の規模は、児童数424名、教職員数26名、学級数16学級であり、荒尾市の中では、規模の大きい方の小学校に該当する。学校からは、有明海を臨むことが出来、地域の方々と連携した、有明海干潟での「まじゃく捕り」などの野外活動も実施している。

PTA組織は、役員および、専門委員会 6 部会（地域委員会・研修委員会・厚生委員会・ベルマーク委員会・お話し大好きの会）と各学年委員会（6 学年）、および有志での「おやじの会」も組織され、保護者と教職員が一致協力して子どもたちの健全な育成に日々取り組んでいる。

2 PTA ドリームプラン活動の経緯

子どもたちの「人」としての「生きる力」を向上させるには、知育・徳育・体育の側面から「今、どこに問題があるのか」、「何をすれば良いのか」そして、それは「どのように取り組めばよいのか」、を保護者と先生方が一体となって、同じ目標に向かって考えていこうと始まった活動である。取り組み始めて、今年度で3年目になる活動である。

3 PTA ドリームプランの内容について

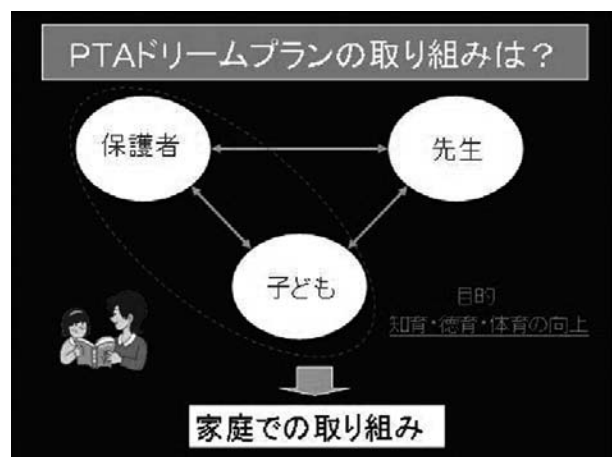
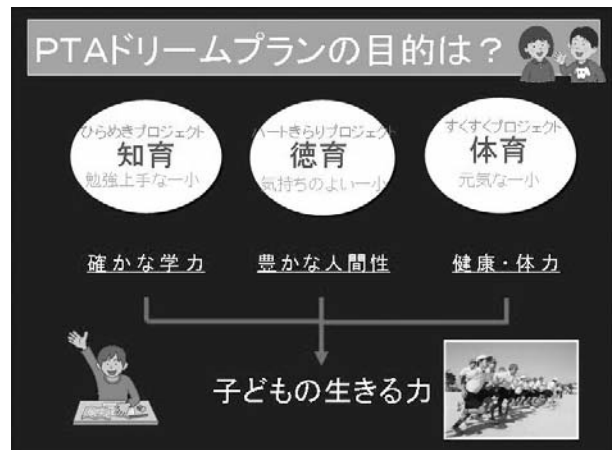
(1)PTA ドリームプランの目的は？

子どもたちの、「知育」（確かな学力）「徳育」（豊かな人間性）「体育」（健康・体力）をバランス良く向上させ、子どもたちの「生きる力」をつけていくことを目的に始まった取組が、この「PTA ドリームプラン」である。

(2)PTA ドリームプランの取組は？

知育・徳育・体育の向上を目的にして子どもたちと、先生方は、学校で取り組んでいる。

PTA ドリームプランは、同じ目標に向かって取り組む、**子どもたちと保護者の活動である。**

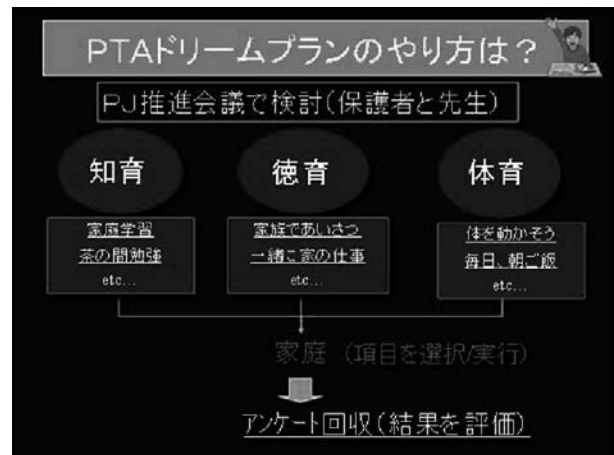


(3)PTAドリームプランのやり方は？

知育・徳育・体育の各項目に対して、各家庭で保護者と子どもたちが取り組める内容を保護者と先生（プロジェクト推進会議）で検討する。

例えば、「知育」であれば「茶の間勉強をしよう!」、「家族読書を楽しもう!」などの項目を設定する。

そして、一週間程度の期間で毎日、出来たか、出来なかったかを子どもたちが自分で評価し、記録し、終わったら学校へそのアンケート用紙を出してもらおう。



知育の内容

- ・ 家庭学習15分×学年をクリアしましょう。
学校からの家庭学習のすすめでも取り上げられています。家族みんなで意識していきましょう。
- ・ 「茶の間勉強」をしましょう。
リビング等、家族のいるところで子どもは勉強をし、親は本を読んだり、趣味に取り組みたりしてみては？ もちろんテレビは消してください。
- ・ 家族読書を楽しみましょう。
同じ本を家族で読みあってもいいですし、新聞を親が読んであげたり子どもが自分の好きな本を家族に読んであげてもかまいません。
- ・ 子どもの音読を聞いてあげましょう。

徳育の内容

- ・ 家族で「おはよう」「おやすみなさい」を言いましょう。
挨拶はコミュニケーションの第一歩です。
- ・ 子どもと一緒に家の仕事をしましょう。
皿洗い、掃除、洗車、料理など、いろいろありますね。一緒に仕事をすると、親子の距離がぐんと近くなります。
- ・ 家族での対話をしましょう。
その日にあったこと、友達のこと、学校のことなど、大人も子どももお互いのことを語り合きましょう。
- ・ 家族に感謝の気持ちを伝えましょう。
普段言わない「ありがとう」という言葉、でも心の中では思っていますよね。おうちの人に「ありがとう」。子どもに「ありがとう」。口に出して言ってみましょう。

体育の内容

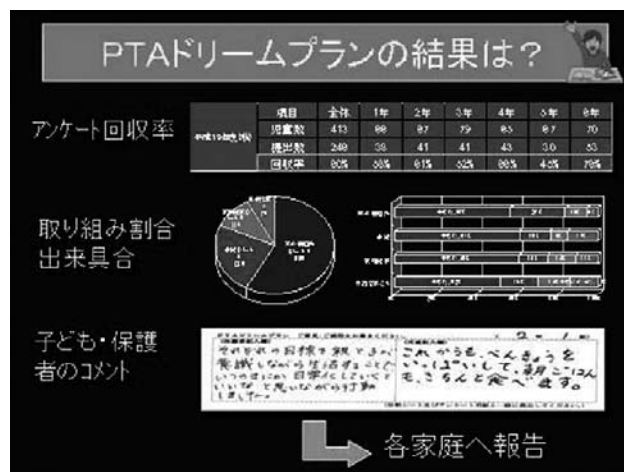
- ・ 睡眠時間を確保しましょう。
下学年1～4年は9時間程度、上学年5～6年は8時間程度
早寝、早起きにつながります。
- ・ 食材について話題をもちながら、親子で食卓を囲もう。
会話があると食が進みます。食べ物で季節を感じたり、知識も増えます。身体だけでなく、心の栄養にもなります。
- ・ 親子で身体を動かしましょう。
散歩、ストレッチ、何でもいいですので各家庭の体力と事情に応じて決めてください。
- ・ 毎日、朝ごはんを食べましょう。
メニューを見直してみても？ 家族で話し合ってみよう。

(4)PTAドリームプランの結果は？

アンケートの回収率。

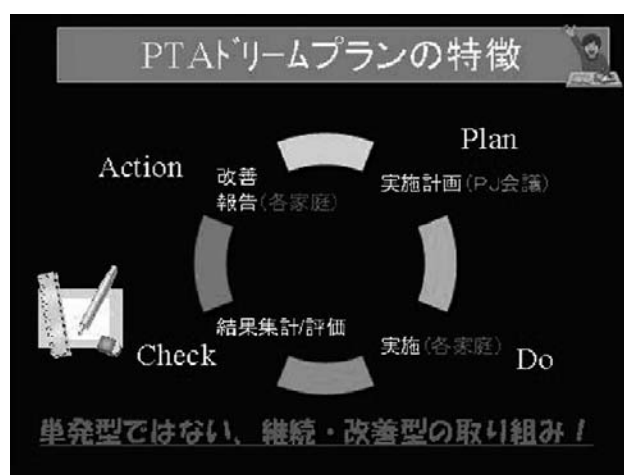
知育・徳育・体育のそれぞれの選択項目の取組割合・出来具合。

子ども、保護者のコメントを集計し、その内容を各家庭へ報告する。



(5)PTAドリームプランの特徴は？

活動した結果を、再びプロジェクト推進会議で検討し、次のプランの活動へ活かしていく。単発で「あいさつをしよう」とか「勉強をしよう」とかではなく、Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）といったPDCAサイクルを使った継続型そして改善型の取組である。



4 成果と課題

(1)成果

平成19年度より取り組み始めたプロジェクトであるが、最初は、保護者・子どもの双方ともプランに対しての認知度が低く、アンケートの回収率も50%台であった。その度に、やり方や認知度を上げる対策を検討した結果、今春のプロジェクトのアンケート回収率は90%を越える回収率にアップした。

回収率だけでなく、知育・徳育・体育それぞれの項目の取組内容について、良く出来るようになったという数値結果が出ている。

保護者・子どもたちからの感想も「プランがあったおかげで、生活を見直すことができました（保護者）」とか「お母さんといっしょに目標をもってできるからいいなと思った。（子ども）」などがあり、少なからず皆さんの意識に変化がでてきているようである。

